

展示会に出展してみた。 第3回ロボデックス展 ~株式会社マルエム商会様ブースにて~

三交企業社員による、展示会出展報告!



第3回ロボデックス展とは?

名称	第3回ロボデックス展		
開催日時	2020年10月21日(水)~10月23日(金)		
テーマ	ロボット開発・活用展		
主催	リード エグジビション ジャパン株式会社		
展示内容	スマート工場実現のための、IoT/AIによる遠隔監視/予兆保全/ 見える化ソリューション、デジタルツイン、FA/ロボット、 生産管理システムなど最新技術が一堂に出展。		
開催場所	ポートメッセナゴヤ		
入場者数	日時	天気	入場者数
	10月21日(水)	晴れ	6,500名
	10月22日(木)	曇り	6,024名
	10月23日(金)	विश	6,847名

●展示会の様子



株式会社マルエム商会様ブースにて、省人化・自動化をテーマに 画像処理AIを展示しておりました。

コロナ禍の中、多くの方に来場者頂き誠に有難う御座いました。

主な出展製品は以下の通り。

1.AI画像処理: VisionPro Deep Learningによる外観検査

2.AI画像処理対応カメラ: In-Sight D900

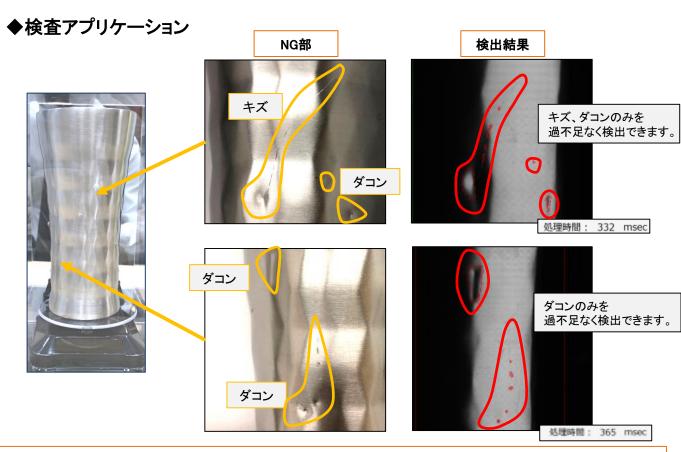
次ページより、順番にご紹介します。



- ●1. AI画像処理: VisionPro Deep Learning外観検査 ~金属製円筒形状のワークの外観検査を自動化~
 - ◆VisionPro Deep Learning(旧ViDi)とは



製造業向けに設計されたDeep Leaningベースの AI 画像処理ソフトウェアです。 外観検査等、多用途で活用できます。 プログラムレスで簡単にAIを試せるGUIとなって おります。



- ・表面に凹凸のある金属製円筒形状のタンブラーをサンプルワークとしました。
- ・複数のダコン、キズ、汚れをAI画像処理ソフトウェア『ViDi』を用いて検査できます。
- ・AIを学習させるために必要なPCや回転ステージ等も合わせて販売しております。



■2. AI画像処理対応カメラ: In-Sight D900



- ・前述のVisionPro Deep Learningと同等の外観検査等のAI画像処理が出来るカメラとなります。
- ・少ない枚数での学習が可能です。
- ・現場環境にPCレスで導入可能です。

<機器構成>

学習環境(オフライン)



GPU レーニングライ

トレーニングライセンス

学習/実行機能での動作が可能 1年間有効(出荷後13か月)

現場環境(インライン)

In-Sight D900



ランタイムライセンス

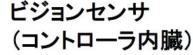
実行機能が本体に内蔵 使用期限は無期限





画像処理機器

汎用画像処理カメラ (コントローラ内臓)



3Dビジョン 3D変位センサ







画像処理AI VisionProDeep Learning

コードリーダ

コード検証機







サンプル評価、立ち上げ支援は当社までご連絡下さい。



画像処理機器やコードリーダなどの機器選定・サンプル評価・立上げ支援・Slerの紹介など幅広く対応致します。

画像処理機器やコードリーダを検討のお客様は 是非弊社へご連絡ください。



住所〒461-0005 名古屋市東区東桜一丁目4番3号 TEL: 052-951-5322 FAX: 052-962-5484

メール: sanko-news@sanko48.co.jp